

特集

セルフ・ コンパッション

リーダーが自分を思いやることで組織が豊かになる

看護管理者の皆さんは日々、スタッフの人材育成、患者さんへのサービスマネジメント、病棟管理に心を砕き、疲弊しています。看護管理者をはじめとする医療従事者の心の健やかさは、チーム医療の質や患者安全にも影響します。看護管理者のメンタルケアについてはこれまでストレス・マネジメントの視点で語られてきましたが、今回の特集では、その視点を前に進めて、「セルフ・コンパッション」という概念を通じて、「リーダーが自分自身をいたわり、思いやりを持つこと」が、個人やチーム・組織に与えるポジティブな価値・効果を紹介します。

本領域に詳しい臨床心理士の岸本早苗氏の監修・執筆により、セルフ・コンパッション、マインドフルネスの概念と実践について、科学的エビデンス、海外の医療機関での実践事例などを交えてお届けします。



自分を受容し，
肯定してみませんか